

◎社会保障に関する日本国とオーストラリアとの間の協定

(略称) オーストラリアとの社会保障協定

平成十九年 二月二十七日	キャンベラで署名
平成十九年 六月 七日	国会承認
平成二十年十二月 二日	効力発生のための外交上の公文の交換の閣議決定
平成二十年十二月 三日	キャンベラで効力発生のための外交上の公文の交換
平成二十年十二月 五日	公布及び告示 (条約第一七号及び外務省告示第六三九号)
平成二十一年 一月 一日	効力発生

目次

ページ

前文	一一
第一部 総則	一一
第一条 定義	一一
第二条 この協定の適用範囲	一四
第三条 この協定の適用を受ける者	一五
第四条 待遇の平等	一五
第五条 海外の受給者への給付の支払	一五

第二部 適用法令に関する規定	一六
第六 条 この部の規定の適用	一六
第七 条 一般規定	一六
第八 条 特別規定	一六
第九 条 公務員、外交使節団の構成員及び領事機関の構成員	一七
第十 条 第三国の領域から派遣される被用者	一七
第十一 条 第七条から前条までの規定の例外	一八
第十二 条 随伴する配偶者及び子	一八
第十三 条 強制加入	一八
第三部 オーストラリアの給付に関する規定	一八
第十四 条 日本国又は第三国の領域内における居住又は所在	一八
第十五 条 オーストラリアの給付に係る通算	一九
第十六 条 オーストラリアの給付の額の計算	二〇
第十七 条 オーストラリアにおける就労居住期間	二一
第四部 日本国の給付に関する規定	二二
第十八 条 日本国の老齢給付に係る通算	二二
第十九 条 日本国の老齢給付の額の計算	二二
第五部 雑則	二三
第二十 条 申請、不服申立て及び申告	二三
第二十一 条 給付の支払	二三
第二十二 条 手数料及び認証	二四
第二十三 条 相互援助及び情報の保護	二四

第二十四条	使用言語	二五
第二十五条	行政上の取決め及び連絡機関	二五
第二十六条	意見の相違の解決	二五
第二十七条	協定の検討	二五
第二十八条	見出し	二五
第六部	経過規定及び最終規定	二六
第二十九条	経過規定	二六
第三十条	効力発生	二六
第三十一条	有効期間及び終了	二六
末 文		二七

社会保障に関する日本国とオーストラリアとの間の協定

日本国及びオーストラリアは、

社会保障の分野における両国間の関係を規律することを希望して、

次のとおり協定した。

第一部 総則

第一条 定義

1 この協定の適用上、

(a) 「領域」とは、次のものをいう。

日本国については、日本国の領域

オーストラリアについては、オーストラリア連邦の領域。ただし、次の(i)及び(ii)に該当する海外地域以外の海外地域を除く。

(i) オーストラリアの法令において定義される「オーストラリア」に含まれているもの

(ii) ココス（キーリング）諸島地域、クリスマス島地域、ノーフォーク島地域、アシュモア及びカーティア諸島地域、ハード島及びマクドナルド諸島地域並びにさんて海諸島地域

(b) 「国民」とは、日本国については、日本国の国籍に関する法律にいう日本国民をいい、オーストラリアについては、オーストラリアの市民権に関する法制にいう市民をいう。

オーストラリアとの社会保障協定

Agreement
between Japan and Australia
on Social Security

Japan and Australia,

Being desirous of regulating the relationship between them in the field of social security,

Have agreed as follows:

Part I
General Provisions

Article 1
Definitions

1. For the purpose of this Agreement,

(a) "territory" means,

as regards Japan,
the territory of Japan,

as regards Australia,
the territory of the Commonwealth of Australia excluding all external territories other than those external territories that are:

(i) included in the definition of 'Australia' in the legislation of Australia; and

(ii) one of the following external territories:
the Territory of Cocos (Keeling) Islands,
the Territory of Christmas Island, the Territory of Norfolk Island, the Territory of Ashmore and Cartier Islands, the Territory of Heard Island and McDonald Islands, and the Coral Sea Islands Territory;

(b) "national" means,

as regards Japan,
a Japanese national within the meaning of the national statute on nationality of Japan,

as regards Australia,
a citizen within the meaning of the law on citizenship of Australia;

オーストラリアとの社会保障協定

(c) 「法令」とは、次のものをいう。

日本国については、次条2に掲げる日本国の年金制度に関する日本国の法律及び規則

オーストラリアについては、同条1(a)に掲げる法律。ただし、第六条から第十三条までの規定の適用（これらの条の規定の適用に係るこの協定の他の条の規定の適用を含む。）に関しては、次条1(b)に掲げる法制をいうものとし、オーストラリアと第三国との間で締結された社会保障に関する協定その他の国際約束は、含まない。

(d) 「権限のある当局」とは、次のものをいう。

日本国については、次条2に掲げる日本国の年金制度を管轄する政府機関

オーストラリアについては、同条1(a)に掲げる法律の適用に関しては、これらの法律に責任を有する連邦の省の次官、及び同条1(b)に掲げる法制の適用に関しては、税務長官又は権限を与えられたその代理人

(e) 「実施機関」とは、日本国については、次条2に掲げる日本国の年金制度の実施に責任を有する保険機関（その連合組織を含む。）をいい、オーストラリアについては、オーストラリアの適用すべき法令を実施する任務を有する機関をいう。

— —

(c) "legislation" means,

as regards Japan, the national statutes and regulations of Japan concerning the Japanese pension systems specified in paragraph 2 of Article 2,

as regards Australia, the Acts specified in subparagraph 1(a) of Article 2 except in relation to the application of Articles 6 to 13 of this Agreement (including the application of other Articles of this Agreement as they affect the application of those Articles) where it means the law specified in subparagraph 1(b) of Article 2, however, the treaties or other international agreements on social security concluded between Australia and a third state shall not be included;

(d) "competent authority" means,

as regards Japan, any of the governmental organisations competent for the Japanese pension systems specified in paragraph 2 of Article 2,

as regards Australia, the Secretary of the Commonwealth Department responsible for the Acts specified in subparagraph 1(a) of Article 2 in relation to the application of those Acts, and the Commissioner of Taxation or an authorised representative of the Commissioner in relation to the application of the law specified in subparagraph 1(b) of Article 2;

(e) "competent institution" means,

as regards Japan, any of the insurance institutions, or any association thereof, responsible for the implementation of the Japanese pension systems specified in paragraph 2 of Article 2,

(f) 「日本国の法令による保険期間」とは、日本国の法令による保険料納付期間及び当該法令において給付を受ける権利の確立に際して考慮されるその他の期間をいう。ただし、他の社会保障に関する協定であつてこの協定と同種のものにより日本国の法令による給付を受ける権利を確立するために考慮することとされた期間は、含まない。

(g) 「オーストラリアにおける就労居住期間」とは、この協定に別段の定めがある場合を除くほか、オーストラリアの法令においてそのように定義される期間のうち、ある者が被用者又は自営業者であつた期間をいう。ただし、日本国の法令による保険期間であつて、第十五条の規定に従つてオーストラリアにおける居住期間とみなされるものは、含まない。

(h) 「給付」とは、日本国については、日本国の法令による年金その他の現金給付をいい、オーストラリアについては、次条1(a)に掲げる法律による年金その他の給付（当該法律の規定に基づいて資格を有する者に対して支払われる追加給付、増加給付又は補足給付を含む。）をいう。

2 この協定の適用上、この協定において定義されていない用語は、各々の締約国の法令において与えられている意味を有するものとする。

オーストラリアとの社会保障協定

as regards Australia, the institution or agency which has the task of implementing the applicable legislation of Australia;

(F) "period of coverage under the legislation of Japan" means,

a period of contribution under the legislation of Japan and any other period taken into account under that legislation for establishing entitlement to benefits,

however, a period which shall be taken into account, for the purpose of establishing entitlement to benefits under the legislation of Japan, pursuant to other agreements on social security comparable with this Agreement shall not be included;

(G) "period of Australian working life residence" means,

unless otherwise provided in this Agreement, a period defined as such in the legislation of Australia, during which a person was employed or self-employed,

however, any period of coverage under the legislation of Japan deemed pursuant to Article 15 to be a period in which that person was an Australian resident shall not be included;

(H) "benefit" means,

as regards Japan, a pension or any other cash benefit under the legislation of Japan,

as regards Australia, a pension or any other benefit under the Acts specified in subparagraph 1(a) of Article 2, including any additional amount, increase or supplement, which is payable to a person who qualifies under those Acts.

2. For the purpose of this Agreement, any term not defined in this Agreement shall have the meaning assigned to it under the respective legislation of either Party.

オーストラリアとの社会保障協定

第二条 この協定の適用範囲

この協定の適用範囲

1 この協定は、オーストラリアについては、この協定の効力発生の日において有効な次の法律及び法制並びにその後これらの法律及び法制を改正し、統合し、補足し、又は代替する法律及び法制について適用する。

- (a) 社会保障法制（老齢年金について規定し、適用し又は影響を及ぼすものに限り。）を構成する法律
- (b) 退職年金保障に関する法制であつて、千九百九十二年の退職年金保障（運営）法、千九百九十二年の退職年金保障賦課徴収法及び退職年金保障（運営）規則に含まれているもの
- ただし、この協定の適用上、第六条から第十三条まで、第十八条、第十九条及び第二十九条3の規定は、(a)に掲げる法律には適用しないものとし、第四条、第五条、第十四条から第二十一条まで、第二十九条（3を除く。）及び第三十一条2の規定は、(b)に掲げる法制には適用しない。

2 この協定は、日本国については、次の日本国の年金制度について適用する。

- (a) 国民年金（国民年金基金を除く。）
- (b) 厚生年金保険（厚生年金基金を除く。）
- (c) 国家公務員共済年金
- (d) 地方公務員等共済年金（地方議会議員の年金制度を除く。）
- (e) 私立学校教職員共済年金
- (b)から(e)までに掲げる日本国の年金制度を以下「日本国の被用者年金制度」とする。

Article 2 Matters Covered

1. As regards Australia, this Agreement shall apply to the following Acts and law effective at the date of entry into force of this Agreement, and to any Acts and law that subsequently amend, consolidate, supplement or replace them:

- (a) the Acts forming the social security law insofar as the law provides for, applies to or affects age pension; and
- (b) the law concerning the superannuation guarantee, which is contained in the Superannuation Guarantee (Administration) Act 1992, the Superannuation Guarantee Charge Act 1992 and the Superannuation Guarantee (Administration) Regulations,

however, for the purpose of this Agreement, Articles 6 to 13, 18, 19 and paragraph 3 of Article 29 shall not apply to the Acts referred to in subparagraph (a) and Articles 4, 5, 14 to 21, 29 (except paragraph 3) and paragraph 2 of Article 31 shall not apply to the law referred to in subparagraph (b).

2. As regards Japan, this Agreement shall apply to the following Japanese pension systems:

- (a) the National Pension (except the National Pension Fund);
- (b) the Employees' Pension Insurance (except the Employees' Pension Fund);
- (c) the Mutual Aid Pension for National Public Officials;
- (d) the Mutual Aid Pension for Local Public Officials and Personnel of Similar Status (except the pension system for members of local assemblies); and
- (e) the Mutual Aid Pension for Private School Personnel;
- (the Japanese pension systems specified in (b) to (e) shall hereinafter be referred to as the "Japanese pension systems for employees");

この協定の適用を受ける者

ただし、この協定の適用上、国民年金には、老齢福祉年金その他の福祉的目的のため経過的又は補完的に支給される年金であつて、専ら又は主として国庫を財源として支給されるものを含めない。

第三条 この協定の適用を受ける者

この協定は、オーストラリアの居住者であるか若しくは居住者であつた者、被用者であつてその雇用者が当該被用者について前条1(b)に掲げる法制の適用を受けているか若しくは受けたことがあるもの、又は日本の法令の適用を受けているか若しくは受けたことがある者、及び該当する場合には、これらの者に由来する権利を有するその他の者に適用する。

第四条 待遇の平等

待遇の平等

前条に規定する者であつて一方の締約国の領域内に通常居住するものは、給付を受ける権利の取得及び給付の支払に関する当該一方の締約国の法令の適用に際し、当該一方の締約国の国民と同等の待遇を受ける。ただし、この規定は、日本国の領域外に通常居住することに基づいて日本国民に対して認められる合算対象期間に関する日本国の法令の規定の適用を妨げるものではない。

第五条 海外の受給者への給付の支払

海外の受給者への支払

1 一方の締約国の領域外に通常居住すること又はその領域内にいないことを専ら理由として給付を受ける権利の取得又は給付の支払を制限する当該一方の締約国の法令の規定は、他方の締約国の領域内に通常居住する者には適用しない。ただし、

(a) 日本国については、この規定は、初診日又は死亡日において六十歳以上六十五歳未満であつた者に関して障害基礎年金又は遺族基礎年金を受ける権利の取得のために日本国の領域内に通常居住していることを要件として定めた日本国の法令の規定の適用を妨げるものではなく、また、

however, for the purpose of this Agreement, the National Pension shall not include the Old Age Welfare Pension or any other pensions which are granted on a transitional or complementary basis for the purpose of welfare and which are payable wholly or mainly out of national budgetary resources.

Article 3
Persons Covered

This Agreement shall apply to any person who is or has been an Australian resident, whose employer is or has been subject to the law specified in subparagraph 1(b) of Article 2 in respect of that person, or who is or has been subject to the legislation of Japan and, where applicable, to other persons who derive rights from such person.

Article 4
Equality of Treatment

The persons specified in Article 3, who ordinarily reside in the territory of one Party, shall receive equal treatment with nationals of that Party in the application of the legislation of that Party in regard to entitlement to and payment of benefits.

However, the foregoing shall not affect the provisions on complementary periods for Japanese nationals on the basis of ordinary residence outside the territory of Japan under the legislation of Japan.

Article 5
Payment of Benefits to Beneficiaries Abroad

1. Any provision of the legislation of one Party which restricts entitlement to or payment of benefits solely because the person ordinarily resides outside or is absent from the territory of that Party shall not be applicable to persons who ordinarily reside in the territory of the other Party.

However,

(a) as regards Japan, the foregoing shall not affect the provisions of the legislation of Japan which require a person who is aged 60 or over but under 65 on the date of the first medical examination or of death to reside ordinarily in the territory of Japan for the acquisition of entitlement to the Disability Basic Pension or the Survivors' Basic Pension; and

オーストラリアとの社会保障協定

(b) オーストラリアについては、第一条1(h)にいう追加給付、増加給付又は補足給付は、オーストラリアの領域外においては、オーストラリアの法令の範囲内においてのみ支払われる。

2 一方の締約国の法令が第三国の領域内における給付の支払を規定し、又は認めている場合であつて、当該給付が第十四条から第十七条までの規定又は第十八条及び第十九条の規定に基づいて支払われるときは、当該給付は、当該第三国の領域内においても支払われる。

第二部 適用法令に関する規定

第六条 この部の規定の適用

この部の規定の適用

この部の規定（第九条1を除く。）は、被用者の就労又は当該就労に対して支払われる報酬に関し、当該被用者又はその雇用者が、この部の規定がなかったならば両締約国の法令の適用を受けることとなる場合のみ適用する。

第七条 一般規定

この協定に別段の定めがある場合を除くほか、いずれか一方の締約国の領域内において被用者として就労する者又はその雇用者については、その就労又は当該就労に対して支払われる報酬に関し、当該一方の締約国の法令のみを適用する。

第八条 特別規定

特別規定

1 一方の締約国の法令に基づく年金制度に加入し、かつ、当該一方の締約国の領域内に事業所を有する雇用者に当該領域内において雇用されている被用者が、当該雇用者により当該一方の締約国の領域から他方の締約国の領域内において一時的に就労するために派遣される場合には、当該被用者及びその雇用者については、その雇用関係に関し、当該被用者が派遣された日から五年の期間が満了するまで、当該被用者が当該一方の締約国の領域内において就労しているものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。その派遣の期間が五年を超えて継続される場合には、当該他方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、当該一方の締約国の権限のある当局又は実施機関の事前の同意を得て、引き続き当該他方の締約国の法令の適用を免除することができる。

(b) as regards Australia, any additional amount, increase or supplement mentioned in subparagraph 1(h) of Article 1 shall only be payable outside the territory of Australia to the extent provided by the legislation of Australia.

2. Where the legislation of a Party provides or allows that a benefit is payable in the territory of a third State, then that benefit, when payable by virtue of Articles 14 to 17 or Articles 18 and 19, is also payable in the territory of that third State.

Part II
Provisions Concerning the Applicable Legislation

Article 6
Application of this Part

This Part (except for paragraph 1 of Article 9) shall apply only if an employee or the employer of the employee would, apart from this Part, be subject to the legislation of both Parties in respect of work of the employee or remuneration paid for the work.

Article 7
General Provisions

Unless otherwise provided in this Agreement, a person who works as an employee in the territory of one Party or the employer of that employee shall, with respect to the work or the remuneration paid for that work, be subject only to the legislation of that Party.

Article 8
Special Provisions

1. Where an employee who is covered under the legislation of one Party and employed in the territory of that Party by an employer with a place of business in that territory, is sent by that employer from that territory to work temporarily in the territory of the other Party, the employee and the employer of that employee shall, with respect to that employment, be subject only to the legislation of the first Party until the expiration of a period of five years from the date that employee is sent, as if that employee were working in the territory of the first Party. If the period continues beyond five years, the competent authority or competent institution of the second Party may, with the prior concurrence of the first competent authority or competent institution of the first Party, grant further exemption of the employee from the legislation of the second Party.

第九條 公務員、外交使節団の構成員及び領事機関の構成員

2 1の規定に従うことを条件として、オーストラリアの法令に基づく年金制度に加入している被用者であつてオーストラリア政府（オーストラリアの地方政府及び地方公共団体を含む。）に雇用されているものが、オーストラリア政府によりオーストラリアの領域から日本国の領域内において就労するために派遣される場合には、当該被用者及びその雇用者については、その雇用関係に関し、オーストラリアの法令のみに適用する。

第三国の領域から派遣される被用者

第八條 1 又は前條 2 及び 3 の規定は、雇業者により一方の締約国の領域から第三国の領域に派遣されてい
た被用者が、その後当該雇業者により当該第三国の領域から他方の締約国の領域に派遣される場合につい
ても、適用する。

Article 9
Civil Servants, Members of Diplomatic Missions and
Members of Consular Posts

2. Subject to paragraph 1 of this Article, where an employee who is covered under the legislation of Australia and employed by the Government of Australia, including a political subdivision or local authority of Australia, is sent by the Government of Australia from the territory of Australia to work in the territory of Japan, the employee and the employer of that employee shall, with respect to that employment, be subject only to the legislation of Australia.

3. Subject to paragraph 1 of this Article, where any civil servant of Japan or any person treated as such under the legislation of Japan is sent to work in the territory of Australia, that person shall be subject only to the legislation of Japan.

Article 10
Persons sent from a Third State

Paragraph 1 of Article 8 or paragraphs 2 and 3 of Article 9 shall apply where a person who has been sent by an employer from the territory of one Party to the territory of a third State is subsequently sent by that employer from the territory of the third State to the territory of the other Party.

オーストラリアとの社会保障協定

第十一条 第七条から前条までの規定の例外

日本国の権限のある当局又は実施機関及びオーストラリアの権限のある当局は、特定の者又は特定の範囲の者の利益のため、当該特定の者又は特定の範囲の者にいずれか一方の締約国の法令が適用されることを条件として、第七条から前条までの規定の例外を認めることについて合意することができ。

第十二条 随伴する配偶者及び子

日本国の領域内において就労する者であつて第八条、第九条2又は前条の規定によりオーストラリアの法令の適用を受けるものに随伴する配偶者又は子として日本国の法令に定める配偶者又は子については、

(a) 当該配偶者又は子が日本国民以外の者である場合には、日本国の法令は、適用しない。ただし、当該配偶者又は子が別段の申出を行う場合には、この(a)の規定は、適用しない。

(b) 当該配偶者又は子が日本国民である場合には、日本国の法令の適用の免除は、日本国の法令に従つて決定する。

第十三条 強制加入

第七条から第十条まで及び前条の規定は、日本国については、日本国の法令における強制加入についてのみ適用する。

第三部 オーストラリアの給付に関する規定

第十四条 日本国又は第三国の領域内における居住又は所在

給付の申請の提出日においてオーストラリアの居住者であり、かつ、オーストラリアの領域内にあるもの要件を除いてはオーストラリアの法令又はこの協定の規定に基づいてオーストラリアの法令による給付を受ける要件を満たす者が、次の(a)及び(b)に該当し、かつ、いずれかの時にオーストラリアの居住者であった場合に限り、当該者は、当該給付の申請の提出に関し、その提出日においてオーストラリアの居住者であり、かつ、オーストラリアの領域内にいるものとみなす。

Article 11
Exceptions to Articles 7 to 10

The competent authority or competent institution of Japan and the competent authority of Australia may agree to grant an exception to the provisions of Articles 7 to 10 in the interest of particular persons or categories of persons, provided that such persons or categories of persons shall be subject to the legislation of one of the Parties.

Article 12
Accompanying Spouse and Children

As regards the spouse or children who are specified in the legislation of Japan as the accompanying spouse or children of a person who works in the territory of Japan and who is subject to the legislation of Australia in accordance with Article 8, paragraph 2 of Article 9 or Article 11,

(a) In cases in which such accompanying spouse or children are persons other than Japanese nationals, the legislation of Japan shall not apply to them. However, when such accompanying spouse or children so request, the foregoing shall not apply.

(b) In cases in which such accompanying spouse or children are Japanese nationals, the exemption from the legislation of Japan shall be determined in accordance with the legislation of Japan.

Article 13
Compulsory Coverage

Articles 7 to 10 and 12 shall apply, as regards Japan, only to compulsory coverage under the legislation of Japan.

Part III
Provisions Concerning Australian Benefits

Article 14
Residence or Presence in the Territory of Japan
or a Third State

Where a person would be qualified under the legislation of Australia or by virtue of this Agreement for a benefit under the legislation of Australia except for not being an Australian resident and in the territory of Australia on the date on which the claim for that benefit is lodged, but:

(a) オーストラリア、日本国又はオーストラリアとの間で社会保障に関する協定（給付の申請の提出、評価及び決定における協力に関する規定を含むものに限る。）を締結している第三国の居住者である」と。

(b) オーストラリア、日本国又は(a)に規定する第三国の領域内にいること。

第十五条 オーストラリアの給付に係る通算

1 この協定の適用を受ける者がこの協定に基づく給付の申請を行う場合であつて、次の(a)、(b)及び(c)に規定する期間を有するときは、日本国の法令による保険期間は、日本国の実施機関により認められる場合に限る。かつ、オーストラリアの法令に定める給付を受ける要件を満たす最小限の期間に充当することのみを目的として、オーストラリアにおける居住期間とみなす。

(a) オーストラリアにおける居住期間であつて、オーストラリアの法令の規定に基づいて当該給付を受ける要件を満たすために必要な期間に達しないもの

(b) 4の規定に従つて定める最小限の期間と等しいか又はこれを超えるオーストラリアにおける就労居住期間

(c) 日本国の法令による保険期間

2 1の規定の適用上、1に規定する者が、次の(a)及び(b)の条件を満たす場合には、日本国の法令による保険期間の合計は、一の連続するオーストラリアにおける居住期間とみなす。

(a) オーストラリアの法令により給付を受ける権利を取得するために必要な連続する最小限の期間に達しない一の連続する期間にオーストラリアの居住者であつたこと。

(a) is an Australian resident or a resident of Japan or a third State with which Australia has concluded an agreement on social security that includes provision for cooperation in the lodgement, assessment and determination of claims for benefits; and

(b) is in the territory of Australia, Japan or that third State,

that person, so long as he or she has been an Australian resident at some time, shall be deemed, for the purpose of lodging that claim, to be an Australian resident and in the territory of Australia on that date.

Article 15 Totalisation for Australian Benefits

1. Where a person to whom this Agreement applies has claimed a benefit under this Agreement and has accumulated:

(a) a period as an Australian resident that is less than the period required to qualify that person, on that ground, under the legislation of Australia for that benefit;

(b) a period of Australian working life residence equal to or greater than the minimum period identified in accordance with paragraph 4 of this Article for that person; and

(c) a period of coverage under the legislation of Japan;

then, that period of coverage under the legislation of Japan shall be deemed to be a period in which that person was an Australian resident only if that period of coverage under the legislation of Japan is certified by the competent institution of Japan and only for the purpose of meeting any minimum qualifying periods for that benefit set out in the legislation of Australia.

2. For the purpose of paragraph 1 of this Article, where a person:

(a) has been an Australian resident for one continuous period which is less than the minimum continuous period required by the legislation of Australia for entitlement of that person to a benefit; and

オーストラリアとの社会保障協定

110

(b) 二以上の別個の日本国の法令による保険期間であつて、それらの合計が(a)に規定する連続する最小限の期間に等しいか又はこれを超えるものを有していること。

3 この条の規定の適用上、オーストラリアにおける居住期間と日本国の法令による保険期間とが重複する場合には、オーストラリアの実施機関は、その重複する期間を単一のオーストラリアにおける居住期間として考慮する。

4 1の規定の適用上、

(a) オーストラリアの居住者でない者に対してオーストラリアの法令による給付が支払われる場合には、オーストラリアにおける就労居住期間として必要な最小限の期間は、少なくとも連続する六箇月を含む十二箇月とする。

(b) オーストラリアの居住者に対してオーストラリアの法令による給付が支払われる場合には、(a)に規定する最小限の期間は、定めない。

第十六条 オーストラリアの給付の額の計算

1 2及び3の規定に従うことを条件として、オーストラリアの領域外にいる者に対してオーストラリアの法令による給付が支払われる場合には、この協定に基づくものであるかを問わず、当該給付の額は、オーストラリアの法令に従って決定する。ただし、オーストラリアの法令による給付の額を計算するため当該者の所得の評価に当たっては、当該者に支給される日本国の法令による給付の一部分のみをその所得とみなす。当該所得とみなされる日本国の法令による給付の一部分は、オーストラリアにおける就労居住期間において当該者が有するすべての月数(ただし、三百を超えないものとする。)(に当該日本国の法令による給付の額を乗じたものを三百で除することによって算出する。

(b) has accumulated a period of coverage under the legislation of Japan in two or more separate periods that equals or exceeds in total the minimum period referred to in subparagraph (a) of this paragraph;

the total of the periods of coverage under the legislation of Japan shall be deemed to be one continuous period in which that person was an Australian resident.

3. For the purpose of this Article, where a period as an Australian resident and a period of coverage under the legislation of Japan coincide, the period of coincidence shall be taken into account once only by the competent institution of Australia as a period as an Australian resident.

4. The minimum period of Australian working life residence to be taken into account for the purpose of paragraph 1 of this Article shall be:

(a) for the purpose of a benefit under the legislation of Australia that is payable to a person who is not an Australian resident, the minimum period required shall be twelve months, of which at least six months must be continuous; and

(b) for the purpose of a benefit under the legislation of Australia that is payable to an Australian resident, there shall be no minimum period.

Article 16 Calculation of Australian Benefits

1. Subject to paragraphs 2 and 3 of this Article, where a benefit under the legislation of Australia is payable by virtue of this Agreement or otherwise, to a person who is outside the territory of Australia the rate of that benefit shall be determined according to the legislation of Australia but, when assessing the income of that person for the purpose of calculating the rate of the benefit under the legislation of Australia, only a proportion of any benefit under the legislation of Japan paid to that person shall be regarded as income. That proportion shall be calculated by multiplying the number of whole months accumulated by that person in a period of Australian working life residence (not exceeding 300) by the amount of that benefit under the legislation of Japan and dividing that product by 300.

2 1に規定する者は、当該者へのオーストラリアの法令による給付の額がオーストラリアの法令により比例配分される期間についてのみ、1に規定する所得の評価を受ける権利を有する。

3 1の規定は、オーストラリアに一時的に帰国した者について、引き続き二十六週の間、適用する。

4 5及び6の規定に従うことを条件として、オーストラリアの領域内にいる者に対してこの協定の規定にのみ基づいてオーストラリアの法令による給付が支払われる場合には、当該給付の額は、次のように決定する。

(a) オーストラリアの法令に従い当該者の所得を計算する。ただし、その計算においては、日本国の法令による給付であつて当該者又はその配偶者が受ける権利を取得しているものがある場合には、当該給付は、考慮しない。

(b) 日本国の法令による給付であつて当該者が受ける権利を取得しているものの額を、オーストラリアの法令による給付の最高額から控除する。

(c) (a)の規定に従つて計算された額を当該者の所得として用いて、(b)の規定に従つて得られた控除後の給付の額について、オーストラリアの法令に定める給付の額に係る適切な計算方式を適用する。

5 4の規定は、オーストラリアを一時的に離れた者について、引き続き二十六週の間、適用する。

6 夫婦の一方又は双方が日本国の法令による給付を受ける権利を取得している場合には、この条の規定及びオーストラリアの法令の規定の適用上、当該夫婦のそれぞれは、場合に応じ、その一方が受ける給付の額の半分又は双方が受ける給付の合計の額の半分を受けているものとみなす。

第十七条 オーストラリアにおける就労居住期間

前二条の規定の適用上、ある者についてのオーストラリアにおける就労居住期間とは、第一条1(e)の規定にかかわらず、オーストラリアの法令においてそのように定義される期間を意味する。

オーストラリアとの社会保障協定

2. A person referred to in paragraph 1 of this Article shall be entitled to receive the assessment of income described in that paragraph only for any period during which the rate of that person's benefit under the legislation of Australia is proportionalised under the legislation of Australia.

3. Paragraph 1 of this Article shall continue to apply for 26 weeks where a person returns temporarily to Australia.

4. Subject to paragraphs 5 and 6 of this Article, where a benefit under the legislation of Australia is payable only by virtue of this Agreement to a person who is in the territory of Australia, the rate of that benefit shall be determined as follows:

(a) calculating that person's income according to the legislation of Australia but disregarding in that calculation any benefit under the legislation of Japan which that person or the partner of that person is entitled to receive if applicable;

(b) deducting the amount of benefit under the legislation of Japan which that person is entitled to receive from the maximum rate of that benefit under the legislation of Australia; and

(c) applying to the remaining benefit obtained under subparagraph (b) the relevant rate calculation set out in the legislation of Australia, using as the person's income the amount calculated under subparagraph (a) of this Article.

5. Paragraph 4 of this Article shall continue to apply for 26 weeks where a person departs temporarily from Australia.

6. Where a member of a couple is, or both that person and his or her partner are, entitled to a benefit or benefits under the legislation of Japan, each of them shall be deemed, for the purpose of this Article and of the legislation of Australia, to be in receipt of one half of either the amount of that benefit or total of both of those benefits, as the case may be.

Article 17 Australian Working Life Residence

Notwithstanding paragraph 1(g) of Article 1, for the purpose of Articles 15 and 16, a period of Australian working life residence in relation to a person means a period defined as such in the legislation of Australia.

オーストラリアとの社会保障協定

第四部 日本国の給付に関する規定

第十八条 日本国の老齢給付に係る通算

1 日本国の法令による老齢給付を受ける権利の取得のための要件を満たすのに十分な保険期間を有しない者について、この条の規定に基づいて給付を受ける権利を確立するため、日本国の実施機関は、日本国の法令による保険期間と重複しない限りにおいて、オーストラリアにおける就労居住期間を考慮する。ただし、この1の規定は、各共済年金の職域加算年金については、適用しない。

2 1の規定の適用に当たっては、オーストラリアにおける就労居住期間は、日本国の被用者年金制度に基づく日本国の法令による保険期間及びこれに対応する国民年金に基づく日本国の法令による保険期間として考慮する。

第十九条 日本国の老齢給付の額の計算

1 前条1の規定の適用により日本国の法令による老齢給付を受ける権利が確立される場合には、2の規定に従うことを条件として、日本国の実施機関は、日本国の法令に従って当該老齢給付の額を計算する。

2 老齢厚生年金の一部である配偶者加給その他の老齢給付であつて、日本国の被用者年金制度に基づく日本国の法令による保険期間が日本国の法令上定められた期間に等しいか又はこれを超える場合に一定額が支給されるものに関しては、当該老齢給付を受けるための要件が前条1の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該老齢給付の額は、当該定められた期間に対する当該老齢給付が支給される日本国の被用者年金制度に基づく日本国の法令による保険期間の比率に基づいて計算する。

Part IV
Provisions Concerning Japanese Benefits

Article 18
Totalisation for Japanese Old-age Benefits

1. Where a person does not have sufficient periods of coverage to fulfill the requirements for entitlement to old-age benefits under the legislation of Japan, the competent institution of Japan shall take into account, for the purpose of establishing entitlement to benefits under this Article, periods of Australian working life residence insofar as they do not coincide with the periods of coverage under the legislation of Japan.

However, this paragraph shall not apply to the additional pension for specified occupations under the mutual aid pensions.

2. In applying paragraph 1 of this Article, periods of Australian working life residence shall be taken into account as periods of coverage under the legislation of Japan pursuant to the Japanese pension systems for employees and as corresponding periods of coverage under the legislation of Japan pursuant to the National Pension.

Article 19
Calculation of Japanese Old-age Benefits

1. Where entitlement to an old-age benefit under the legislation of Japan is established by virtue of paragraph 1 of Article 18, the competent institution of Japan shall calculate the amount of that benefit in accordance with the legislation of Japan, subject to paragraph 2 of this Article.

2. With regard to the Additional Pension for Spouses which is included in the Old-age Employees' Pension and any other old-age benefits that may be granted as a fixed sum in cases where the period of coverage under the legislation of Japan pursuant to the Japanese pension systems for employees equals or exceeds the specified period determined by the legislation of Japan, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of paragraph 1 of Article 18, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of the periods of coverage under the legislation of Japan pursuant to the Japanese pension systems for employees from which such benefits will be paid to that specified period.

第五部 雑則

第二十条 申請、不服申立て及び申告

- 1 一方の締約国の法令に基づく文書による給付の申請、不服申立てその他申告が他方の締約国の法令に基づく類似の申請、不服申立てその他申告を受理する権限を有する当該他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に対して提出された場合には、当該給付の申請、不服申立てその他申告については、その提出の日当該一方の締約国の権限のある当局又は実施機関に対して提出されたものとみなすものと、当該一方の締約国の手続及び法令に従って取り扱う。
- 2 この条の規定が適用される場合には、給付の申請、不服申立てその他申告が提出された一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、これらを遅滞なく他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する。
- 3 オーストラリアの実施機関が行う決定については、1に規定する不服申立てに関する文書とは、オーストラリアの法令により設立された行政機関に対してなされる不服申立てに関する文書又はオーストラリアの法令の適用に当たって行政上なされる不服申立てに関する文書を意味する。

第二十一条 給付の支払

- 1 この協定に基づく給付の支払は、いずれの締約国の通貨によっても行うことができる。
- 2 この協定に基づき一方の締約国により支払われる給付は、受給者が他方の締約国の領域内にいるか又は両締約国の領域外にいるかを問わず、当該給付の手続及び支払のための行政上の手数料を控除されることなく、当該一方の締約国によって支払われる。
- 3 いずれか一方の締約国が外国為替取引又は海外送金を制限する措置を実施する場合には、両締約国の政府は、この協定に基づく当該一方の締約国による給付の支払を確保するために必要な措置について、直ちに協議する。

Part V
Miscellaneous Provisions

Article 20
Applications, Appeals and Declarations

1. When a written application for benefits, an appeal or any other declaration under the legislation of one Party is submitted to a competent authority or competent institution of the other Party which is competent to receive similar applications, appeals or declarations under the legislation of that other Party, that application, appeal or declaration shall be deemed to be submitted on the same date to the competent authority or competent institution of the first Party and shall be dealt with according to the procedure and legislation of the first Party.
2. In any case to which this Article applies, the competent authority or competent institution of one Party to which the application for benefits, appeal or any other declaration has been submitted shall transmit it without delay to the competent authority or competent institution of the other Party.
3. In relation to a decision made by the competent institution of Australia, an appeal document in paragraph 1 of this Article means a document concerning an appeal that may be made to an administrative body established by, or be made administratively for the purpose of, the legislation of Australia.

Article 21
Payment of Benefits

1. Payment of benefits under this Agreement may be made in the currency of either Party.
2. A benefit payable by a Party by virtue of this Agreement shall be paid by that Party, whether the beneficiary is in the territory of the other Party or outside the respective territories of both Parties, without deduction for government administrative fees and charges for processing and paying that benefit.
3. In case provisions for restricting the exchange of currencies or remittance are introduced by either Party, the Governments of the two Parties shall immediately consult on the measures necessary to ensure the payment of benefits by either Party under this Agreement.

オーストラリアとの社会保障協定

第二十二条 手数料及び認証

1 一方の締約国の法令及び日本国についてはその他の法律及び規則が、当該一方の締約国の法令の適用に際して提出すべき文書に係る行政上又は領事事務上の手数料の免除又は軽減に関して規定している場合には、これらの規定は、この協定及び他方の締約国の法令の適用に際して提出すべき文書についても適用する。

2 この協定及び一方の締約国の法令の適用に際して提出される文書については、外交機関又は領事機関による認証その他これに類する手続を要しない。

第二十三条 相互援助及び情報の保護

1 両締約国の権限のある当局及び実施機関は、それぞれの権限及び行政上の慣行の範囲内において、この協定の実施のために相互に援助する。(この援助は、無償とする。)

2 一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、当該一方の締約国の法令の下で収集された個人に関する情報(この協定の実施のために必要なものに限る。)を当該一方の締約国の法律及び規則に従って他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する。

3 両締約国の権限のある当局は、この協定の規定の適用のためにとった措置及び自国の法令の変更(この協定の規定の適用に影響を及ぼすものに限る。)に関するすべての情報をできる限り速やかに相互に通報する。

4 一方の締約国の法律及び規則により特に必要とされない限り、この協定に従って他方の締約国により当該一方の締約国に対して伝達される個人に関する情報は、この協定を実施する目的のためにのみ使用する。一方の締約国が受領するこれらの情報は、個人に関する情報の秘密の保護のための当該一方の締約国の法律及び規則によって規律される。

Article 22
Charges or Fees and Legalisation

1. Insofar as the legislation of one Party, and in the case of Japan, other national statutes and regulations, contain provisions on an exemption or reduction of administrative charges or consular fees for documents to be submitted under the legislation of that Party, those provisions shall also apply to documents to be submitted in the application of this Agreement and the legislation of the other Party.

2. Documents which are presented for the purpose of this Agreement and the legislation of a Party shall be exempted from requirements for legalisation or any other similar formality by diplomatic or consular authorities.

Article 23
Mutual Assistance and Protection of Information

1. The competent authorities and competent institutions of the two Parties, within the scope of their respective authorities and administrative practice, shall assist each other in implementing this Agreement. This assistance shall be free of charge.

2. The competent authorities or competent institutions of one Party shall, in accordance with its national statutes and regulations, send to the competent authorities or competent institutions of the other Party information about an individual collected under its legislation insofar as that information is necessary for the implementation of this Agreement.

3. The competent authorities of the Parties shall communicate to each other, as soon as possible, all information about the measures taken by them for the application of this Agreement and about changes in their respective legislation insofar as these changes affect the application of this Agreement.

4. Unless otherwise required by the national statutes and regulations of one Party, information about an individual which is transmitted in accordance with this Agreement to that Party by the other Party shall be used exclusively for the purpose of implementing this Agreement. Such information received by a Party shall be governed by the national statutes and regulations of that Party for the protection of confidentiality of personal data.

使用言語

第二十四条 使用言語

1 両締約国の権限のある当局及び実施機関は、この協定の実施に必要な場合には、相互に、及び関係者（その居住地を問わない。）に対して、直接連絡する（ことができる。）この連絡は、両締約国のそれぞれの言語により行うことができる。

2 この協定の実施に際し、一方の締約国の権限のある当局及び実施機関は、他方の締約国の言語で作成されている（こと）を理由として申請書その他の文書の受理を拒否してはならない。

第二十五条 行政上の取決め及び連絡機関

両締約国の権限のある当局は、

(a) この協定の実施のために必要な行政上の取決めについて合意する。

(b) この協定の実施のために連絡機関を指定する。

第二十六条 意見の相違の解決

この協定の解釈又は適用についての意見の相違は、両締約国間の協議により解決する。

第二十七条 協定の検討

一方の締約国が他方の締約国に対し、外交上の経路を通じてこの協定の検討のための会合を書面により要請する場合には、両締約国は、その要請が行われた後できる限り速やかに当該会合を開催する。両締約国が別段の取決めをしない限り、当該会合は、当該要請を受けた締約国の領域内において開催する。

第二十八条 見出し

この協定中の部及び条の見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであって、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

行政上の取決め及び連絡機関

意見の相違の解決

協定の検討

見出し

Article 24 Languages of Communication

1. The competent authorities and competent institutions of the Parties may communicate directly with each other and with any concerned person wherever the person may reside whenever it is necessary for the administration of this Agreement. The communication may be in the respective languages of the Parties.

2. In implementing this Agreement, the competent authorities and competent institutions of one Party may not reject applications or any other documents for the reason that they are written in the language of the other Party.

Article 25 Administrative Arrangement and Liaison Agencies

The competent authorities of the two Parties shall:

(a) agree on the administrative arrangements necessary for the implementation of this Agreement; and

(b) designate liaison agencies for the implementation of this Agreement.

Article 26 Resolution of Disagreement

Any disagreement regarding the interpretation or application of this Agreement shall be resolved by consultation between the Parties.

Article 27 Review of Agreement

Where a Party gives the other Party a written request through diplomatic channels to meet to review this Agreement, the Parties shall meet for that purpose as soon as practicable after that request was made and, unless the Parties otherwise arrange, their meeting shall be held in the territory of the Party to which that request was made.

Article 28 Headings

The headings of Parts and Articles of this Agreement are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of this Agreement.

オーストラリアとの社会保障協定

第六部 経過規定及び最終規定

第二十九条 経過規定

- 1 この協定は、その効力発生前に給付を受ける権利を確立させるものではない。
- 2 この協定の実施に当たっては、この協定の効力発生前の日本国の法令による保険期間、オーストラリアにおける居住期間及びその他の法的に関連する事実についても、考慮する。
- 3 第八条1並びに第九条2及び3の規定は、この協定の効力発生の日前に派遣された被用者についても適用する。第八条1の規定の適用に当たっては、この協定の効力発生前から一方の締約国の領域内で就労していた者については、同条1に規定する派遣の期間は、この協定の効力発生の日に開始したものとみなす。
- 4 この協定の効力発生前に行われた決定は、この協定により確立されるいかなる権利にも影響を及ぼすものではない。

第三十条 効力発生

この協定は、両締約国が、この協定の効力発生に必要なそれぞれの法律上及び憲法上の要件が満たされた旨を相互に通告する外交上の公文を交換した月の翌月の初日に効力を生ずる。

第三十一条 有効期間及び終了

- 1 この協定は、いずれか一方の締約国が他方の締約国に対し、外交上の経路を通じて書面による協定の終了の通告を行う月の後十二箇月目の月の末日まで効力を有する。

有効期間
及び終了

Part VI
Transitional and Final Provisions

Article 29
Transitional Provisions

1. This Agreement shall not establish any entitlement to benefits for any period prior to its entry into force.
2. In the implementation of this Agreement, periods of coverage under the legislation of Japan, and periods as an Australian resident and other legally relevant events occurring before its entry into force shall also be taken into account.
3. Paragraph 1 of Article 8 and paragraphs 2 and 3 of Article 9 shall also apply to the employees who are sent before the date of entry into force of this Agreement. In applying paragraph 1 of Article 8 in the case of persons who have been working in the territory of a Party prior to the entry into force of this Agreement, the period referred to in paragraph 1 of Article 8 shall be considered to begin on the date of entry into force of this Agreement.
4. Decisions made before the entry into force of this Agreement shall not affect any rights to be established by virtue of this Agreement.

Article 30
Entry into Force

This Agreement shall enter into force on the first day of the month following the month in which the Parties shall have completed an exchange of diplomatic notes informing each other that their respective statutory and constitutional requirements necessary to give effect to this Agreement have been fulfilled.

Article 31
Duration and Termination

1. This Agreement shall remain in force and effect until the last day of the twelfth month following the month in which either Party gives the other Party written notification through diplomatic channels of its termination.

末 文

2 この協定が1の規定に従って終了する場合には、終了の日前に給付の申請を提出し、かつ、当該給付を受ける権利の取得のための要件を満たす者がこの協定の下で取得した当該給付を受ける権利及び当該給付の支払に関する権利は、維持される。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当な委任を受けてこの協定に署名した。

二千七年二月二十七日にキャンベラで、ひとしく正文である日本語及び英語により本書二通を作成した。

日本国のために

上田秀明

オーストラリアのために

マル・ブラフ

2. If this Agreement is terminated in accordance with paragraph 1 of this Article, rights regarding entitlement to and payment of benefits acquired under it shall be retained, in respect of a person who submits an application for those benefits and who fulfills the requirements for entitlement to those benefits prior to the date of termination.

In witness whereof, the undersigned, being duly authorised thereto by their respective Governments, have signed this Agreement.

Done at Canberra on the twenty-seventh day of February two thousand and seven in duplicate in the Japanese and English languages, the two texts being equally authentic.

For Japan:

上田秀明

For Australia:

Mal Brough

(参考)

この協定は、オーストラリアとの間で、年金制度への加入に関する法令の適用調整及び保険期間の通算を行うことについて定めるものである。